

Title	ソシオ・テクニカル・アプローチによる情報システムの構築方法
Sub Title	
Author	小坂武(Kosaka, Takeshi) 高木晴夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1988
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1988年度経営学 第598号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001988-0598">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001988-0598</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## ソシオ・テクニカル・アプローチ による情報システムの構築方法

競争優位を組織の中に実現する情報システムのための具体的な構築方法を提案するのが本研究の目的である。情報技術は企業の中で濃淡はあるものの広く浸透し、全ての職能へ、経営の全ての階層へ、組織の仕事からパーソナルな仕事へと浸透した。その浸透過程に共通するのは従来手作業で行っていた業務を機械で代替することであった。今日、企業はこのような機械化から生じる「効率」の追求だけではなく、他社とは異なった業務のやり方で競争優位を実現出来ること、言い替えれば「効果」の追求へと認識の範囲を拡大してきている。

従来のコンピュータ・ベースの情報システムは効率を狙ったものであった。その構築のために、既存業務の分析を中心とする分析的方法が採用されてきた。今日、新しい業務形態を実現するに当り、コンピュータを始めとする情報技術はその鍵となりつつある。しかし、従来の分析的構築方法は新しい業務形態を考察する能力を持たないため、この種の情報システムの構築には無力である。

競争優位の実現は企業の戦略そのものである。そのため、コンピュータ・ベースの情報システムの構築は、その考察範囲を情報システムから、「企業戦略」の範囲まで広げることが必要となった。また、新しい業務形態の実現は「人と組織」に変革を持ち込むこととなった。本論文は前者を技術的(テクニカル)な問題、後者を社会的(ソシオ)な問題と捉え、今後の情報システムに必要な構築方法を提案する。特に、従来と異なるところは、情報システムの計画のところにあると考え、ソシオとテクニカルの両面から計画方法を具体化し、提案する。

なお、本研究は文献研究とケースに基づく理論的考察である。考察の結果、ソシオとテクニカルは代替可能性のないことが判明した。提案する方法が情報システム計画活動の立案と実施に有効であることをケースを通し確認した。